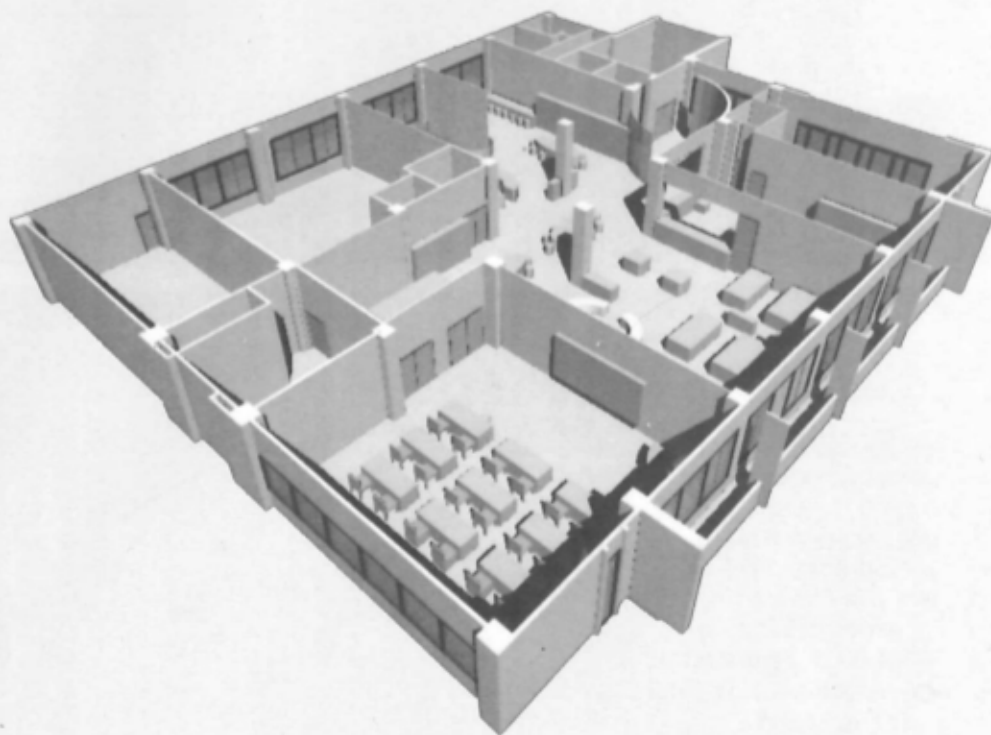




仮称 都留市子ども マルチメディアプラザ 設置の目的

近年、青少年を取り巻く著しい社会環境の変化により「いじめ・不登校・犯罪」などの青少年問題がクローズアップされています。

その問題の根幹にかかわる部分は、青少年の育成にあります。問題を引き起こす多くの子どもたちは、生活を通しての実体験不足からくる情緒の不安定が起因していると考えられています。

今、その子どもたちに対し、学校・家庭・社会が青少年問題を共通の課題としてとらえていくことが強く求められています。現状での認識は、子どもたちの問題が多岐にわたっているため、学校教育の対応だけで問題を解決することは不可能であり、社会全体が色々な形で受け皿づくりをすることが重要とされています。

今回、計画している「(仮称)子どもマルチメディア・プラザ」には、高度情報化時代の子どものたちが、自由に近未来体験が出来る場とするともに、施設内に「のびのびクラブ(子ども)」「マルチメディア・自然・工作・釣り・エプロンなど」を組織し、子どもたちの実体験活動を積極的に展開することとしています。

また、一般市民の方々にも生涯

マルチメディア 体験工房、学習コーナー (実際の体験や 作業ができるゾーン)

- ▼マルチメディア高速ネットワークの体験
- ▼マルチメディアを利用したホームページ、コンピュータグラフィックス、ソフトウェアなどの製作コーナー
- ▼インターネットの体験コーナー
- ▼パソコン教室の開催コーナー

読み聞かせコーナー

- ▼乳幼児を抱える保護者の皆さんのための本およびCDを利用した読み聞かせゾーン

多目的メディアルーム (集団学習、映像鑑賞など多 目的に利用可能なゾーン)

- ▼大画面スクリーンを使い製作したホームページなどの鑑賞
- ▼テレビ会議システムおよびインターネット大画面表示によるグループ語学学習や講習会などの生涯学習会の開催

電子図書館・情報コー ナー、グループ学習コ ーナー(情報の検索、閲覧、 グループ鑑賞のゾーン)

- ▼児童図書、絵本、ビデオ、CDなどの利用(図書貸出、音楽鑑賞など)
- ▼CD-ROM、DVDによる百科事典などの利用
- ▼高速ネットを利用した美術品や遺跡などの鑑賞

学習の場として活用していただくとともに、「いきいきクラブ(一般)」を組織し、さらなる生涯学習の推進を図っていただきます。

さらに、乳幼児を抱える保護者の皆さんのために、読み聞かせコーナーを設置するなど様々な方にご利用いただき、生涯学習の場、子どもたちとの世代間交流の場として活用することが出来ます。

利用し、異年齢集団として活動し「勉強」ではなく「遊び」の中から、自分自身を「学び」取ると同時に、大人との交流の中で「社会」のルールを学び、生きるための知恵を会得してほしいと考えています。

都留市の二十一世紀を託す子どもたちにとって、「(仮称)子どもマルチメディア・プラザ」は貴重な体験ができる施設となります。